

科目名	子ども家庭福祉				担当	川島 良雄		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年前期	実務経験	児童指導員、児童福祉司の勤務経験あり	
必修	卒業：必修 保育士：必修				ナンバリング	Y1103	DPとの関連	2
授業概要	<p>少子高齢化が進展する中で、子どもや家庭を取り巻く生活環境・社会環境が複雑化し、子どもの育ちと子育てが深刻な問題に直面している。特に、児童虐待、子どもの貧困化等の問題は、看過できない状況である。この科目では、子どもを取り巻く状況の理解を踏まえ、子ども・家庭・地域を支援していくために必要な知識を学習する。</p>							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>子どもと家庭生活の実態、それを取り巻く社会状況について理解を深める</li> <li>児童・家庭福祉の法制度と実施体制について学ぶ</li> <li>特に、児童の関する諸問題・児童虐待問題等については、現状と支援についてより実践的に理解を深める</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	～オリエンテーション～ 現代の子ども家庭福祉と保育士						
	2	子どもの権利						
	3	子ども家庭福祉の成り立ち						
	4	子ども家庭福祉の法と行政・実施機関 ①子ども家庭福祉の法体系						
	5	子ども家庭福祉の法と行政・実施機関 ②子ども家庭福祉の行政・実施機関						
	6	子ども家庭福祉の施設						
	7	社会的養護						
	8	保育サービス						
	9	障害児の福祉 ①障害児を取り巻く現状						
	10	障害児の福祉 ②障害児の福祉と保育、これからの展望						
	11	子どもを取り巻く諸問題 ①子ども虐待の現状						
	12	子どもを取り巻く諸問題 ②子ども虐待への対応、少年非行						
	13	子どもを取り巻く諸問題 ③子どもの貧困対策、外国籍の子ども支援						
	14	子育て支援と健全育成						
15	子ども家庭福祉の専門職と専門技術							
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>子どもと家庭生活の実態、それを取り巻く社会状況について説明できる</li> <li>児童・家庭福祉の法制度と実施体制について理解することができた</li> <li>特に、児童の諸問題について、現状と支援について説明することができる</li> </ol>							
評価方法	授業態度（積極的参加） 20%、 提出物 20%、 期末試験 60% （総合評価）							
フィードバック 方法	課題や試験については、授業中に説明及び講評を行う							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、調べ学習							
教科書	『新版 保育士を目指す人の子ども家庭福祉』							
参考書	授業時に、適宜紹介する							
履修条件	子どもや家庭を取り巻く生活環境・社会環境に興味を持ち、テレビ、新聞、書籍等から積極的に情報を取得し、授業に積極的に参加することを期待する							
授業外学習	授業計画に示された内容について、①教科書しっかり読んでおく ②関連する内容について、テレビ、新聞、書籍等に目を通しておく （各回1時間程度）							
オフィスアワー	初回授業で説明する							